

形態機能学 I (解剖学)

単位数 (時間数) : 2 単位 (60 時間) 必修/選択 : 必修 履修年次 : 1 年次 開講時期 : 前期

科目責任者 (職位・氏名) : 非常勤講師・遠山稿二郎

科目担当者 (職位・氏名) :

対応DP : 基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号 : 25

■ 授業概要

看護の実践、特にフィジカルアセスメントの基盤となる、人体の基本構造と器官系の正常な機能に関する知見を提供するだけでなく、どのような機能によって恒常性が維持されているのか、その調節・制御機構を理解し、また日常生活にどのように影響を及ぼしているかの理解に必要な専門知識を教授する。

本分野 (解剖学) では、形態学的な観点から、細胞の構造、人体を構成する組織、器官の構造を理解するために必要な解剖学的専門知識および考え方を解説する。

【提出物】各自、A4 のルーズリーフとクリアファイル (留め具等のないもので、学籍番号と氏名を明記) を準備する。講義ノートを整理し、レポートとして毎時間分提出する。まとめ方については各自の創意工夫を歓迎する。コピー・ペースト厳禁。

【提出方法】学内の掲示板で別途指示する。

■ 到達目標

1. 体の部位について「解剖学用語」を使って表現できる。
2. 各臓器の大きさを把握し、大まかなつくりを図示し、機能と関連づけて説明できる。
3. 各臓器の細胞組織レベルの構造を図示し、機能と関連づけて説明できる。
4. 教科書各章および講義で示す「学習達成チェック」を習得する。

■ 教育内容

人体の構造と機能

■ キーワード

細胞、組織、器官、体腔、形態、機能、発生

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	解剖学総論	概論、細胞、系統、体腔、解剖学用語 【教科書:1「解剖学とは何か」; 2「器官とその系統」; 4「人体の外形と方向用語」; 参考書:2「細胞と組織」】・講義	遠山
2	骨格系 I	総論・発生・組織 【教科書:3「組織と細胞」: P7 ~P12; 5「骨格系」: P25 ~P37; 15「発生のあらまし」 P340~P341】・講義	遠山
3	筋系 I	総論・発生・組織 【教科書:3「組織と細胞」: P12 ~P14; 6「筋系」: P73 ~P78; 15「発生のあらまし」 P340~P341】・講義	遠山
4	骨格系 II	頭蓋・体幹の骨 【教科書: 5「骨格系」: P37 ~P57】・講義	遠山
5	筋系 II	頭部・体幹の筋【主な血管と神経】 【教科書: 6「筋系」: P78 ~P92】・講義	遠山
6	骨格系 III	上肢帯・上肢の骨 【教科書: 5「骨格系」: P57 ~P63】・講義	遠山
7	筋系 III	上肢帯・上肢の筋【主な血管と神経】 【教科書: 6「筋系」: P93 ~P97】・講義	遠山
8	骨格系 IV	下肢帯・下肢の骨 【教科書: 5「骨格系」: P63 ~P72】・講義	遠山
9	筋系 IV	下肢帯・下肢の筋【主な血管と神経】 【教科書: 6「筋系」: P97 ~P102】・講義	遠山

10	神経系総論	発生・組織・脳脊髄膜・脳室・脳脊髄液 【教科書：3「組織と細胞」：P14～P18； 13「神経系」：P253～P256；P278～P284； 15「発生のあらまし」P335～P340； P347】・講義	遠山
11	末梢神経系	脳神経・脊髄神経・自律神経系 【教科書：13「神経系」P284～P305】・ 講義	遠山
12	中枢神経系 I	大脳半球・間脳・脳幹・小脳・脊髄の構造 【教科書：13「神経系」P256～P305】・ 講義	遠山
13	中枢神経系 II	知覚にかかわる主な伝導路 【教科書：13「神経系」P305～P309】・ 講義	遠山
14	中枢神経系 III	運動にかかわる主な伝導路 【教科書：13「神経系」P309～P312】・ 講義	遠山
15	感覚器 I	視覚器（発生・組織・構造） 【教科書：14「感覚器系」P313～ P320】・講義	遠山
16	感覚器 II	平衡聴覚器・皮膚（発生・組織・構造） 【教科書：14「感覚器系」P321～ P332】・講義	遠山
17	血液・循環器系 I	総論・発生・組織・血球・リンパ系組織 と脾臓の構造 【教科書：7「循環系」P103～107；P142 ～149；15「発生のあらまし」P339】・ 講義	遠山
18	血液・循環器系 II	心臓【教科書：7「循環系」P107～ 117；】・講義	遠山
19	血液・循環器系 III	全身の動脈・静脈・リンパ管 【教科書：7「循環系」P117～142】・講 義	遠山

20	呼吸器系Ⅰ	総論・発生・組織 【教科書：9「呼吸器系」P107～117；15「発生のあらし」P346】・講義	遠山
21	呼吸器系Ⅱ	構造：鼻腔・喉頭・気管・肺 【教科書：9「呼吸器系」P195～211】・講義	遠山
22	消化器系Ⅰ	総論・発生・組織・構造：口腔・食道 【教科書：15「発生のあらし」P346；8「消化器系」P151～P168】・講義	遠山
23	消化器系Ⅱ	胃・小腸・大腸 【教科書：8「消化器系」P168～P185】・講義	遠山
24	消化器系Ⅲ	肝臓・膵臓 【教科書：8「消化器系」P185～P193】・講義	遠山
25	泌尿生殖器系総論	泌尿器系の発生と生殖器系の発生 【教科書：15「発生のあらし」P341～344】・講義	遠山
26	泌尿器系	発生・組織・構造：腎臓・尿管・膀胱・尿道・外陰部 【教科書：10「泌尿器系」P213-P220】・講義	遠山
27	男性生殖器系	発生・組織・構造：精巣・精管・付属腺 【教科書：11「生殖器系」P221-P228】・講義	遠山
28	女性生殖器系・人体の発生	発生・組織・構造（卵巣・卵管・子宮・膣）；受精および胎児の器官形成の概略 【教科書：11「生殖器系」P228-P239；15「発生のあらし」P333～P350】・講義	遠山
29	内分泌系Ⅰ	総論・発生・組織・構造の特徴；下垂体・松果体 【教科書：12「内分泌系」P241-P246】・講義	遠山

30	内分泌系Ⅱ	甲状腺・上皮小体・副腎・膵島 【教科書：12「内分泌系」P246-P252】・ 講義	遠山
----	-------	--	----

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

「講義ノート」のレポート 20%および試験（中間、期末）80%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

学務課を通して行う。

■ 教科書

- ・藤田恒夫著（2012）『入門人体解剖学 改訂第5版』南江堂

■ 参考書・参考資料等

- ・『デジタル ナーシング グラフィカ』メディカ出版
人体の構造と機能 ① 解剖生理学

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

シラバスに記載の授業内容で指定された部分を事前に目を通すこと。1時間程度。

■ 担当教員からのメッセージ

解剖学は体の「つくりと働き」を理解する科目です。幸い、皆さんは、その実物を各自持っています。例えば、骨・筋・腱・血管などは、体表から触れることが可能な部位があります。また、手首・肘・膝がどのように動くかも実感できます。学習した臓器については、その都度、各自の体でも確認し、解剖学的・医学的用語を使って学習した知識を反芻してみてください。また、新聞、テレビ、ウェブなどで関連する情報に興味をもって意識的に接することも大切です。皆さんは、これまでの小学校以来の教育で、多くの「体に関する知識」を教わっています。ただ、これまでの知識は断片的で体系立っていないため、専門家としては不十分です。本科目を通して、それらの知識をきちんと整理・修正・確認し、体系的に理解し、プロの看護師として活用できる総合力を身につけましょう！ 授業で疑問が生じた時は、その場で質問し、私を助けてください。山登りと同じで、一步一步進めば必ず山頂に到達できます！

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

講義の後の時間に対応可能。

その他は学務課へお問い合わせください。

■ 担当教員の実務経験の有無

無

■ 担当教員の実務経験

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容